

議員全員協議会

日 時	令和2年9月25日(金) 開会中	15時05分 開会 15時34分 閉会
場 所	相良庁舎4階 大会議室	
出席議員	議長 16番 中野康子 副議長 15番 大井俊彦	
	1番 鈴木長馬	2番 濱崎一輝 3番 原口康之
	4番 吉田富士雄	5番 平口朋彦 6番 藤野 守
	7番 名波喜久	8番 植田博巳 9番 村田博英
	10番 良知義廣	11番 澤田隆弘 12番 鈴木千津子
	13番 太田佳晴	14番 大石和央
欠席議員		
事務局	局長 原口 亨 次長 原口みよ子 書記 大塚康裕 書記 本杉周平	
説明員	建設理事、建設部長、建設管理課長	
傍 聴		

署名 _____ 議長

[午後 3時05分 開会]

開会の宣告

○議長（中野康子君）

それでは、本日は国土強靱化の充実・強化を求める意見書について、臨時の全員協議会を開催させていただきます。

皆様方にご協議いただきたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

2 事件 (1) 「国土強靱化の充実・強化を求める意見書」について

○議長（中野康子君）

本件につきましては、8月21日に、坂口谷川水門建設期成同盟会の要望活動を、総務建設委員長とともに、県庁や島田土木事務所へ赴いた際、緊急対策の延長を要望する話が出たこともありますので、意見書を国に提出していくことが必要だというふうに考えました。

本日は、担当課であります建設部にご出席をいただきまして、まず最初に概要について説明をお願いし、その後、議会運営委員会での協議結果を委員長から報告していただくことといたします。

後ほど説明があろうかと思えますけれども、国土強靱化対策のための3か年緊急対策につきましては、平成30年度から令和2年度までの3年間、別枠で予算措置され、3年間で集中して国土強靱化に向けた、緊急を要する対策が進められているところであります。

しかし、3年間の期間限定となっておりますので、今年度末で期限を迎えることから、別枠での予算措置の継続や、延長がなされないと、県が進める事業の進捗に遅延が生じることが考えられます。

また、次回11月定例会最終日での議員発議となりますと、国の来年度の概算要求が固まってしまっておそれがありますので、本当に急ではございますけれども、本定例会で、皆様にご協議をいただきたいと考えて、本日の議会全員協議会を開かせていただきました。よろしく願いいたします。

それでは、建設部のほうから、概要の説明をお願いいたします。

建設管理課長。

○建設管理課長（山田哲士君）

建設部より情報提供させていただきます。

資料は、件名が、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に関する情報提供ということになります。

では、資料に沿って説明をさせていただきます。

1、国土強靱化のための3か年緊急対策について。

毎年のように豪雨災害、地震の災害が発生している中で、平成30年度は激甚災害の多発がありましたことを受けまして、重要インフラの緊急点検が実施されました。

その重要インフラの緊急点検の結果、特に緊急で実施すべき、ハード・ソフト対策を3か年で集中して実施するというので、この防災・減災、国土強靱化対策のための3か年緊急対策が、平成30年12月に閣議決定がされました。

そして、平成30年度の補正予算から予算が計上され、令和2年度までの3か年集中で、国土強靱化基本計画に基づき実施されているところです。

全国で緊急対策160項目、予算にしまして、おおむね7兆円程度の規模の別枠予算が計上されております。

令和2年までということですが、それ以降も、国土強靱化基本計画に基づき推進していくことは決まっていますが、それ以外は、今のところ未定ということになっております。

これについて、2枚目の参考資料ですけれども、これが閣議決定をされたときの資料で、今私が説明をさせていただいたことが写真つきで書かれておりますので、参考によろしく願いいたします。

続きまして、1枚目の項目の2、市の取り組みについて。市でも、牧之原市国土強靱化地域計画を令和2年3月に策定いたしました。

各種の建設促進要望のときにも、この別枠予算の継続もしくは拡充を要望し、要望書にも書き込み、要望してまいりました。

そして3番、この別枠予算を用いた市内の主要事業であります。県が実施している大きな事業で、今年度から牧之原市側の予算が計上されている、主要地方道吉田大東線（南原工区）の建設工事、昨年交付金事業から補助事業に格上げされた、2級河川坂口谷川水門建設工事、昨年度感謝式典を開催しましたが、海岸堤防防潮堤のL1整備の工事、それから今年度東中橋のほうまで延伸予定である、萩間川の河川改修、それから毎年実施されている勝間田川の河床浚渫など、このような事業で活用がされています。

4、この別枠予算が継続しない場合の市への影響ということですが、今説明いたしました主要事業につきまして、この国土強靱化予算で実施されているため、年々スピードアップしているという現状がありますが、その進捗スピードが低下しまして、もしくは予算がないということで、凍結ということも考えられます。

市民の安全・安心が確保できない可能性が出てきます。

しかし、その主要事業の必要性によっては、どうしても事業を継続しないといけないという場合がございまして、そうした場合は県や市の単費が必要となり、ますます県や市の財政が圧迫されるということが考えられます。

5番目、あくまで参考であります。他の県議会、市議会の動きであります。地方自治法第99条に基づいた、各県の県議会、市議会から内閣総理大臣をはじめ、国土交通大臣宛てに意見書が提出された動きがあります。

9月11日現在の情報であります。6月、山梨県、ほか10県。それから、静岡県の方は、最新が確認できておりませんが、行政側から自民党静岡県連の方に、このような情報提供がされています。9月は、静岡市、浜松市、富士市、沼津市、湖西市の方で、議会にかけられるということ聞いております。

それから、道路促進期成同盟会の全国協議会の方からも出ています。

それから、今後は11月に藤枝市、12月に磐田市という情報を聞いております。

このような動きは、過去の例でありますけれども、29年に「財特法の嵩上げ継続の要望」ということが出されております。

説明は以上となります。

○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

ただいま、ご説明をいただきましたけれども、事業の概要について、質問がありましたら、お願いをいたします。

太田議員。

○13番（太田佳晴君）

この国土強靱化の関係の意見書を、まだその議論になってはいないんですけれども、上げることとしては別に、とにかく必要だと思います。

ただ、一つちょっと気になることがあるものですから、確認させてください。4の、もし別枠予算が継続しない場合の市への影響という中に、事業の凍結という言葉が入っておりますけれども、そもそもこの国土強靱化の関係の予算については、3年間ということ当初から決まっていたはずなんです。にもかかわらず、それが予定どおり期限が切れたときに、事業が凍結ということは、少し違和感を感じるんですけれども、これはどのような意味なのでしょう。

○議長（中野康子君）

建設管理課長。

○建設管理課長（山田哲士君）

事業の中には、3年では終わらないもの、例えば10年間のうち3年間ですとか、そういったところで使われる場合もありますので、そうした場合、今のコロナ禍の予算の逼迫の状況もありますと、別枠予算がなくなった。そうしたら単費を持ってこようかということで、単費もコロナ禍でなくなってきているということになりますと、出すところがないということで、もしかしたらということで、中止というような意味合いも発生するのではないかとということで、記載をしております。

○議長（中野康子君）

太田議員。

○13番（太田佳晴君）

それでは、当然当初からこの3年間が終われば、事業のスピードが落ちるということは想定のと

中で、今回、コロナという非常に深刻な事態が発生して、それによって予定していたものが凍結される可能性が出てきたということで、いいでしょうか。

○議長（中野康子君）

建設管理課長。

○建設管理課長（山田哲士君）

そのような理解で結構です。

○議長（中野康子君）

そのほか、よろしいでしょうか。

[「なし」と言う者あり]

○議長（中野康子君）

それでは、質問がありませんので、ここで職員の皆様、建設部の皆様、ありがとうございます。

それでは、今お話をしていただきましたけれども、国土強靱化の充実・強化を求める意見書のたたき台となる案を皆様にお配りをさせていただきます。

事務局より朗読を、また配りましたらお願いをいたします。

お手元に皆さん行かれましたか。大丈夫でしょうか。

それでは、事務局から朗読のほうをお願いいたします。

○事務局次長（原口みよ子君）

では、意見書の案を朗読させていただきます。

近年の気候変動に起因した豪雨、暴風・波浪等、頻発化・激甚化する異常気象により全国各地で自然災害の猛威にさらされている。このような自然災害に事前から備え、市民の生命や財産を守る防災・減災、国土強靱化は、一層重要性が増しており、その対策の継続は喫緊の課題となっている。

こうした状況の中で、国においては「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」として、令和2年度までの3か年で集中的に取り組むこととしている。

本市においても、「牧之原市国土強靱化地域計画」の基本理念である「安全・安心で暮らせる“強く、しなやかな”まち」に向けて、道路ストックの維持修繕や空港アクセス道路の整備等による交通ネットワークの機能強化をはじめ、河川・海岸整備等の社会整備を早急に進める必要がある。

ついては、あらゆる災害の未然防止と発生後の迅速な対応に向けた国土強靱化の取り組みがより一層強力に推進されるよう、下記の事項に特段の措置を講じることを強く要望する。

- 1 国土強靱化の取り組みを推進するため、対策に必要な公共事業予算の総額を確保すること。
- 2 令和2年度で期限となる「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の後も継続して国土強靱化対策を推進するため、財政上の措置を講じるとともに、支援対象の拡大や要件の緩和等の制度の充実・強化を図ること。

3 社会資本の整備・管理に加え、災害発生時の迅速かつ円滑な対応等のため、地方整備局の体制の維持・充実を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

以上です。

○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

意見書の案では、1点目といたしまして、対策に必要な公共事業の予算の総額を確保すること。また、2点目といたしまして、緊急対策終了後も、財政上の措置を講じ、支援対象の拡大や要件の緩和等の制度の充実を図ること。

3点目といたしまして、地方整備局の体制及び維持の3点について、要望をするものでございます。

それではここで、9月23日に臨時の議会運営委員会を開催していただき、本件について委員会で協議をいただいた結果を、委員長から報告をいただきたいと思っております。

鈴木千津子議員。

○12番（鈴木千津子君）

それでは、9月23日に開催しました議会運営委員会での協議結果について、ご報告させていただきます。

本件につきましては、取り扱うことと決定し、所管の総務建設委員会において、取り扱いを協議していただくこととしましたので、ご報告させていただきます。

以上です。

○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

それでは、本件につきまして、委員長からの報告のとおり、総務建設委員会で取り扱いを協議いただき、協議の結果を、9月30日の全員協議会で総務建設委員長から報告をいただきたいと思っておりますので、短い期間となりますが、よろしくお願いをいたしたいと思っております。

その他として、何か皆様からございましたらどうぞ。

大石議員。

○14番（大石和央君）

教えていただいたのは、3番目の地方整備局の体制の維持・充実を図ることとありますけれども、これって、現状が変わっていくというような意味合いなんですか。それを維持・充実するというふうなことの、どういうような。

○議長（中野康子君）

この案はあくまでも、他県の出す、国土強靱化のほうへ、国のほうへ出す、そういうのを参考にさせていただいてあります。

先ほど建設管理課長のほうから報告がありましたけれども、建設管理課長のほうも、国土交通

省からおいでくださっているものですから、その中でお考えいただいた、この部分の文章でございます。

○14番（大石和央君）

ということは、地方整備局を変えていくという動きがあるというようなことですよ。そういう意味ですかね。だからということかな。

いないから。総務の中でやればいいかもしれませんが。聞いていないのね。

○議長（中野康子君）

私たちが一番望むのは、今、牧之原市の中で、坂口谷川、それから萩間川、勝間田川、そしてL1の防潮堤、それが継続されないと大変困るので、その部分がすごく強くて、11月の議会では、ちょっと国の予算が固まってしまうというおそれがあるので、早目に出したいということでございますので、ぜひその部分ではご理解をいただきたいなというふうに思います。

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

今の全員協議会での決定というか、報告をもって総務建設委員会に付託されたとは私は理解しているんですけども、この付託された意見書の審査、これから審査していくにあたって、今、大石和央議員からも発言もありましたし、説明員を求めて詳しく聞くということも可能かなと思うんですけども、もしよろしければ、そういう形を取って、今の地方整備局の体制、また今後の見通しというか、展望がどうなるかというのもお聞きした上で、文面を一つ一つ精査して、皆さんで審査していけばいいかなと思うんですけども、いかがでしょうか。

○議長（中野康子君）

よろしいでしょうか。皆さん、それでよろしいでしょうか。

太田議員。

○13番（太田佳晴君）

先ほどもちょっと質問させてもらった中で、当然これは出して行って、牧之原市の予定している事業が速やかに進むことが望ましいものですから、ぜひお願いしたい。

ただ、この意見書の全文の内容ですけれども、その理由、どういうことかということの中に、先ほど課長に確認したら、予定していなかったコロナという、大きな、確かに来年度の事業の編成が大変だということです。もうこれは牧之原市に限らず、どこもとんでもない事態になると思います。

その中で、今、国が非常に神経をとがらせているのは、やはり事業が持続化できるか、継続化できるか、そのことを非常に気を使っております。

だから、私はその部分の文面を少し入れたほうが説得力があるじゃないかなと。このままでは、牧之原市としての事業の継続、持続化ができない可能性があるということ、少したったほうがいいかなと思いますけれども、またよければ、総務のほうでその辺もご検討お願いします。

○議長（中野康子君）

総務建設委員長と副委員長、それから総務建設委員会のほうで、そのような形を、また取らせていただきたいと思います。承知いたしました。

そのほかにご意見ありますでしょうか。

吉田議員。

○3番（吉田富士雄君）

ちょっとお願いというか、先達ていろいろ、防潮堤の関係でも一般質問を名波議員から、原口議員からしたのですが、それこそ、この地域、沿岸部で防潮堤レベル2という要望はないんですよ、まだ。それこそ、仮に駿河湾内で地すべりが起きて、数十メートルの津波が来たり、南海トラフの津波が来たりしたら、1万3,000人死ぬという想定という。たとえ3,000人死んでもすごいことなのに、1万3,000人亡くなるということは、牧之原市が終わるじゃないかということが想定される。そういうことを言っているけれども、財源がないために、市としては、この地域、沿岸部はどこもそうなんです、このコロナで財源がなくなっているということも含めて、今までレベル2は市でやりなさいよと言われても、ちょっと調べたのですが、市長の報告なのですが、企業ふるさと納税、そのどれぐらい集まっているか見たら、ほんの1,000万ぐらいしか、今まで納税がないのですが、それを使うといえ、その率でいくと140年かかります。

そういうことで、国でそういう資金を出していかないと無理じゃないかと思うので、そういうのも要望できないのかなと思います。

○議長（中野康子君）

大井議員。

○15番（大井俊彦君）

吉田議員、この国土強靱化3か年計画ということで、今回は継続事業ということで、海岸防潮堤については、牧之原市の場合はL1防潮堤ということで対応しているということですので、今の話は、ちょっと別枠かなというふうに思います。

○3番（吉田富士雄君）

加えることはできないんですか。

○議長（中野康子君）

これは継続事業です。

それも必要なことだと思いますけれども、これはあくまでも継続事業は続けられないと困るので、緊急性を要していますので、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（中野康子君）

では、皆様、総務建設委員会のほうへ付託して、協議いたしますので、また皆さんご協力のほど、よろしくお願いたします。

4 その他

○議長（中野康子君）

どうぞ。

村田議員。

○9番（村田博英君）

1件、今のお話じゃないんですけど、1番目の議会でも市長から話があったんですけど、例の爆弾騒ぎの話ですが、あれですかね、しゃべっちゃいかんよという話だけど、メディアどうのこうのと言ったけど、そっちはどうなっているんですかね。あした出ちゃうのかな。

○議長（中野康子君）

結局、朝方、市長のお話の中でありましたけれども、愉快犯ですから、その対応は警察にお任せするという事になっております。

菊川市と牧之原市だけならあれでしたけれども、ほかのほうもあるということなので、警察間の連携の中で対応すると、そのように申し出ていたと思いますけれども、局長、どうでしょう。

○事務局長（原口 亨君）

最初は、報道されるかもしれないということで、朝一番で皆さんにご報告させていただいたんですけど、市長が途中でちょっとお話ししたんですけど、ここだけではなくて、県内のほかのところでも、そういう爆弾予告のようなことがあったということで、情報につきましては、警察のほうから全て流すということもおっしゃってございましたので、報道に流れるかどうかというのは、今この時点でわからないんですけど、恐らく流れないのかなと思うんですけど、ちょっと今、そこは確認が取れておりません。

○9番（村田博英君）

報道に入れちゃうとね。

わかりました。とりあえず、黙っておく。

○議長（中野康子君）

子供が、特に女子トイレですから、子供が怖がっても困るというのもあって、本当に非常に気を使って報告がありましたので、その部分をお知らせさせていただきました。

良知議員。

○10番（良知義廣君）

報道の関係については、結局県内にちらほらなっているものですから、それで各市長さんは警察に任せると。警察に任せた場合に、報道機関も知っているわけですね。だから、報道機関に知らせた上で報道協定を取る場合もありますから、そこら辺は、今私は現役を去っているのわかりませんが、今の現役がどういうふうにかえるということになります。

○議長（中野康子君）

報道があるかどうか、ちょっと今のところ確認できておりませんが、こういうことがあ

ったんですけれども、子供たちにはなるべく知らせないということが原則でございますので、よろしくご協力のほどお願いをいたします。

それでは、以上で臨時の全員協議会を終わらせていただきます。ありがとうございました。

[午後 3時34分 閉会]